

牛久：学校周辺に見る自然

第30号 牛久二小

2014年1月23日発行

冬かんきつの生きものそくほうの観察速報 テントウムシの卵を見つけたよ!!>

まだところどころ雪も残る1/22、牛久二小4年生と近くの公園きゅうこうでん、そして休耕田きゅうこうでんを歩きました。時間をみて少しずつ紹介しょうかいしていきますが、今回はすごいものを見つけてくれたので速報そくほうです。



ナナホシテントウを見つけたよ！
(右はその拡大)

休耕田きゅうこうでんの観察を始めていろいろな草ふゆこの冬越しの様子を観察していましたが、しばらくして昆虫も見つけはじめました。そして、「テントウムシがいたよ。」と見せてくれたのがこれ。ナナホシテントウですね。テントウムシのなかまは成虫せいちゅうで冬を越すものが大部分で、ナミテントウは石の裏やわら巻の中などかげになるところで10数頭か～数十頭の集団でかたまることが多いですが、このナナホシテントウはけっこう寒さに強いのか、枯れ草の根もとなどで1（～数）頭かでいることが多いようです。



石の裏にあったテントウムシの卵がくだい(左)とその拡大(中)。土にも(右)

それにしてもこの寒い中、よく見つけたなあと感心かんしんしていたら、こんどは「モンシロチョウの卵があった～ッ！」と大きな声が…。いや、まさかと思いながら見せてもらったら、何とテントウムシの卵でした。モンシロチョウならもっと小さく、必ずアブラナのなかまの葉に、そして一つずつはなれて産みますね。それにしても「テントウムシは成虫越冬せいちゅうえつとう」と先入観せんいゆうかんをもっていたので、びっくりしました。でもナナホシテントウなら冬でも暖かい日には動きまわっているので、ありえないことではないのですね。ネットで調べてみましたらやはりめずらしいのかなかなか見つかりませんでした。平塚市博物館ひらつかしはくぶつかんのサイトにありました。http://www.hirahaku.jp/web_yomimono/tantei/mtstent.html
暖かい日が続くとふ化あたたする可能性かのうせいが高いようですが、生まれてもエサがないので死んでしまうようです。暖かい冬こまに困ってしまう生きものもいるのですね。

【理科支援員：宮内】